

---

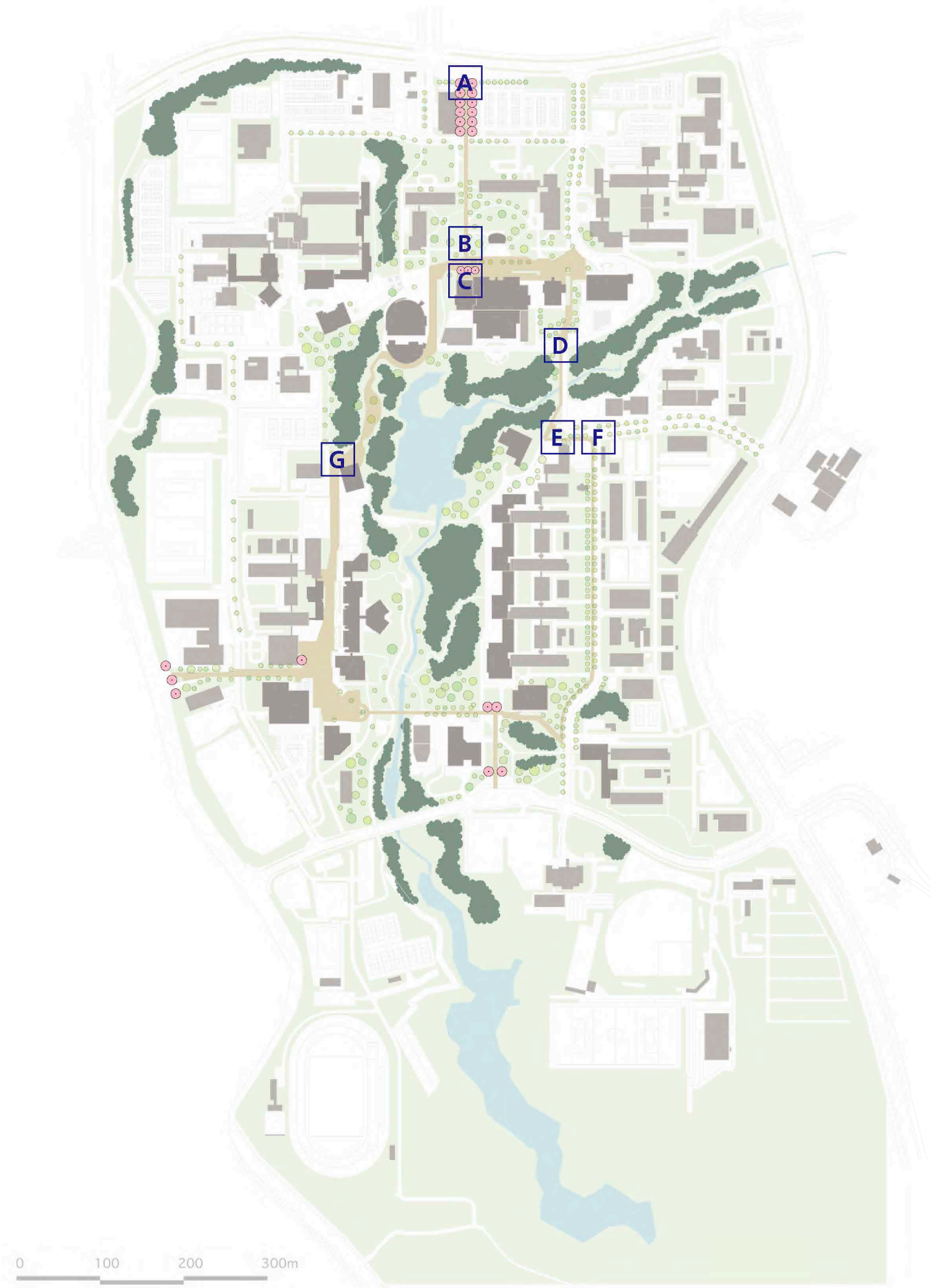
# 第V章 ケーススタディ

第V章 ケーススタディ

---

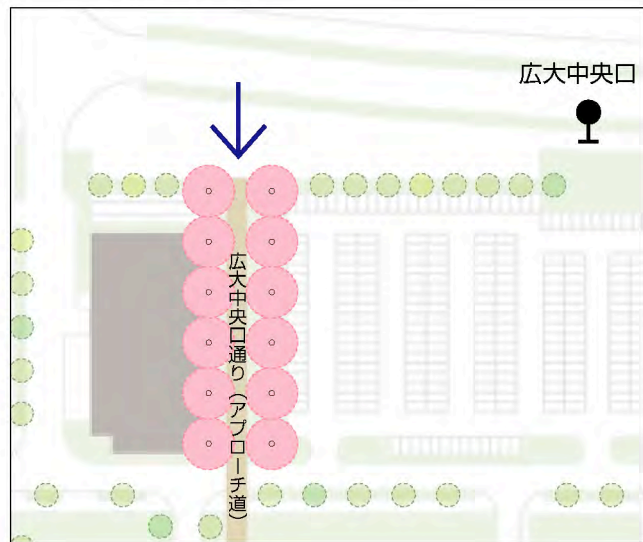
第V章 ケーススタディ

- A. 広大中央口エリア [→P1 参照](#)
- B. 広大中央口通り前エリア [→P2 参照](#)
- C. 北総合案内エリア [→P3 参照](#)
- D. 工学部前橋北エリア [→P4 参照](#)
- E. 工学部／工学研究科施設門エリア [→P5 参照](#)
- F. 工学部／工学研究科施設と学内各種施設の分岐点エリア [→P6 参照](#)
- G. 西第1福利前エリア [→P7 参照](#)





**A.** 広大中央口エリア



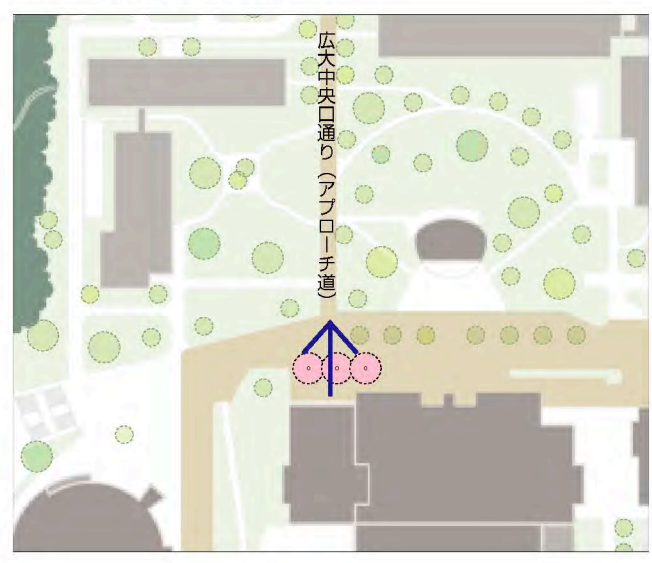
使用サイン	ガイド本参考ページ
<b>A-4</b> ゲートサイン_学名タイプ	P36
<b>A-4</b> ゲートサイン_通り名タイプ	P36

**ゲートサインでおもてなしの空間をつくります**  
 キャンパスの主要出入口にあたる箇所は来訪者をもてなす顔づくりが必要です。  
 「広島大学」であることを視認性良く明記するとともに、キャンパスへのゲート空間となる環境演出をおこなうことが望ましいと考えます。  
 広大中央口からのアプローチには、特に入学シーズンである春を華やかに演出する桜の並木道づくりとともに、環境演出を図りたいと考えます。  
 また、アプローチ路の名称を訴求することで、復路のサポートとなるように配慮します。





**B. 広大中央口通り前エリア**



使用サイン	ガイド本参考ページ
<b>A-4</b> ゲートサイン_通り名タイプ	P36

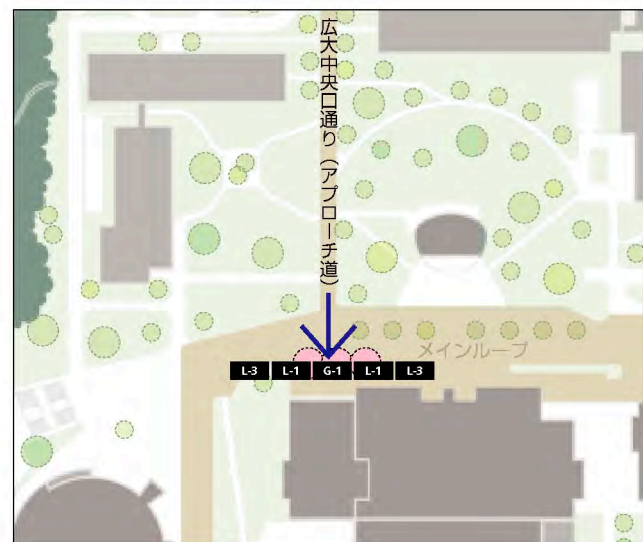
**通りの名称によるゲート化 (復路)**

主要アプローチ路はそれぞれの端部にゲートサインを設置し、復路においても通りの存在を認識しやすくします。  
 通りの名称はバス停と連携することで、より直感的で合理的な効果が期待できます。





### C. 北総合案内エリア



使用サイン	ガイド本参考ページ
<b>G-1</b> キャンパス総合案内	P31
<b>L-1</b> 各学部系施設エリア誘導	P33
<b>L-3</b> 非学部系施設誘導	P35

#### 情報の大拠点にふさわしい空間をつくります

メインループとアプローチ道の交差点は、主要な岐点として情報の大拠点化をおこないます。

キャンパスの総合案内と主要施設の誘導をおこなうと同時に、サイン自体と周辺を含めた象徴的景観として実現化をねらいます。

中央図書館前の大拠点化は、広大中央口通りとの連携を図り、桜による背景づくりが望ましいと考えます。



D. 工学部前橋北エリア

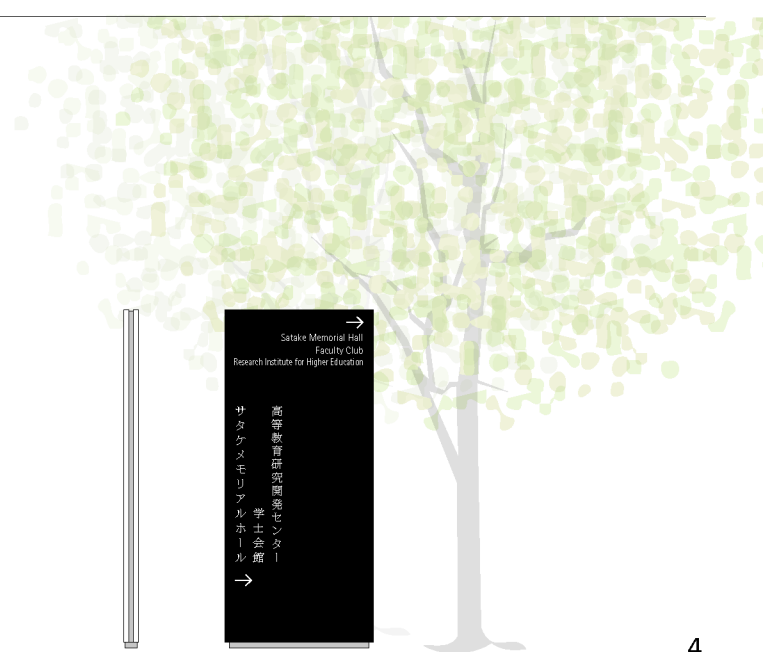


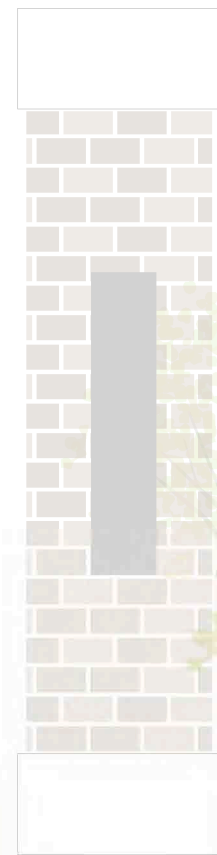
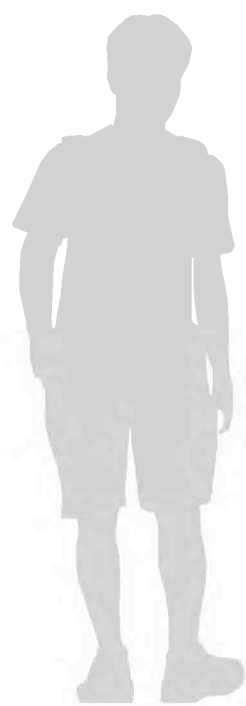
使用サイン	ガイド本参考ページ
<b>L-1</b> 各学部系施設エリア誘導	P33
<b>L-3</b> 非学部系施設誘導	P35
<b>L-4</b> ループサイン	P41

メインループ上に誘導サイン群を設けます

メインループ上で誘導の分岐点と考えられる箇所に「各学部系施設エリア誘導サイン (L-1)」と「非学部系施設誘導サイン (L-3)」を設置します。(=この設置タイプを「誘導サイン群」とします。)

誘導サイン群によって情報の集約的景観化を図り、システムチックで認識しやすいサインの景をつくり出します。





← Applied Biological Science / Biosphere Science  
 生物生産学部 / 生物圏科学研究科

International Development and Cooperation  
 国際協力研究科

Integrated Arts and Sciences  
 総合科学部 / 総合科学研究科

工学部 / 工学研究科 案内

Map of Engineering

**E. 工学部 / 工学研究科施設正面出入口エリア**



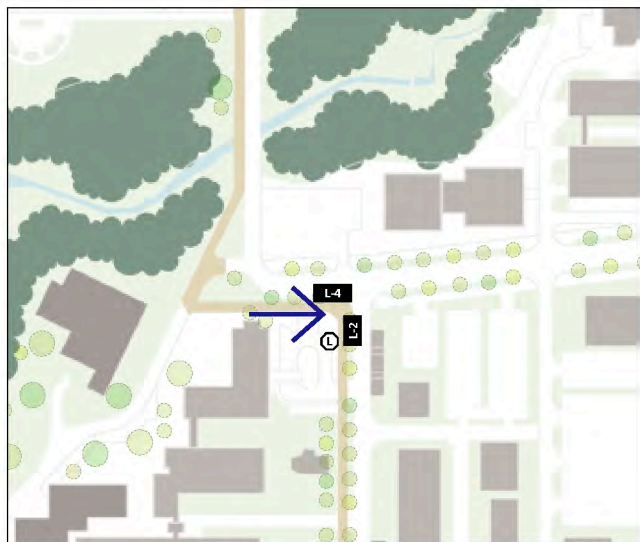
使用サイン	ガイド本参考ページ
<b>G-2</b> 各学部系施設案内サイン	P31
<b>L-1</b> 各学部系施設エリア誘導	P33

**学部系施設の正面出入口でお迎えします**

各学部系施設の出入口に当たる箇所には、来訪者をお迎える「各学部系施設案内サイン（G-2）」を設置し、当該学部の総合的案内をおこないます。（上図は誘導サイン群と共存する場合）案内サイン周辺は各学部毎の個性を活かした環境演出が望ましいと考えます。



**F. 工学部／工学研究科施設と学内各種施設の分岐点エリア**

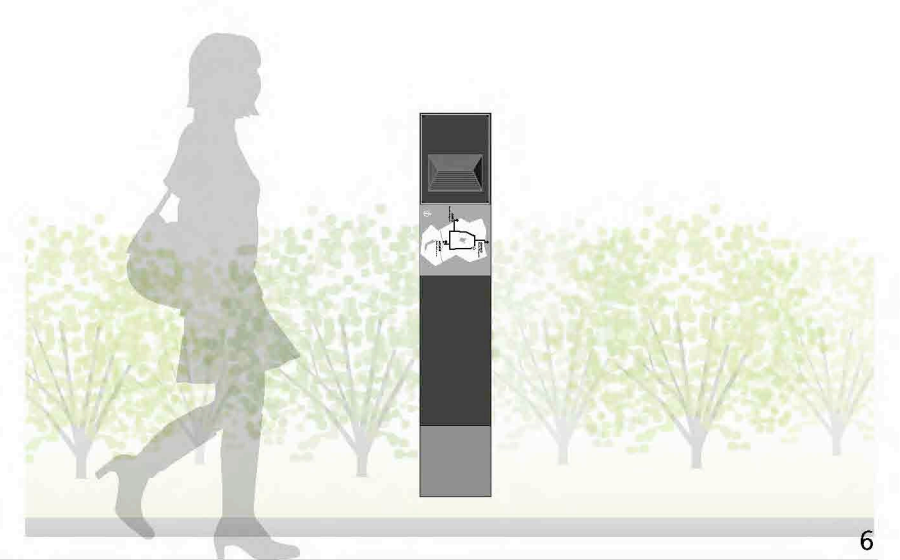


使用サイン	ガイド本参考ページ
<b>L-2</b> 各学部系施設エリア誘導	P34
<b>L-4</b> 非学部系施設誘導	P35
<b>L</b> ループサイン	P41

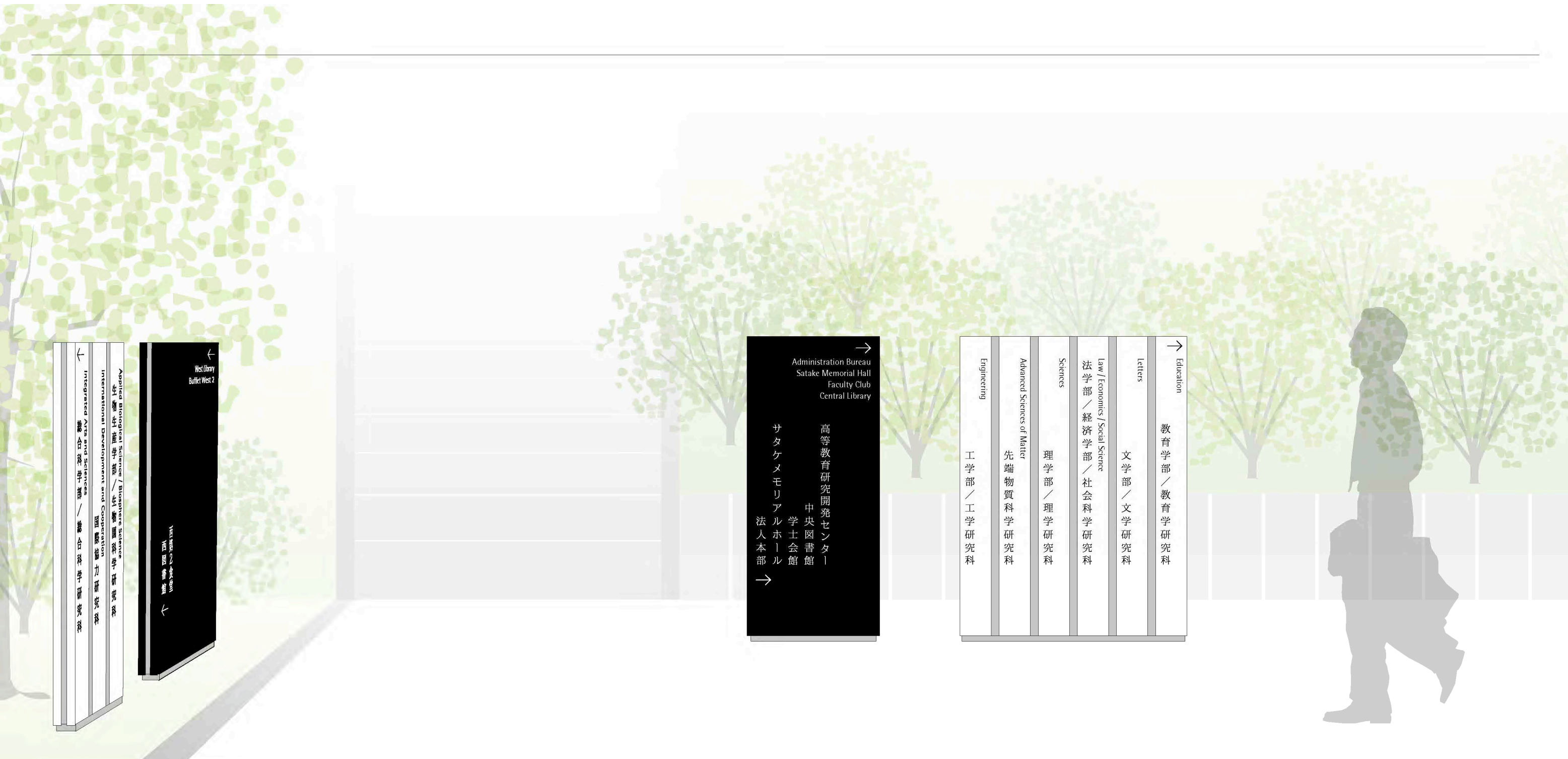
**メインループから個々の施設への誘導**

個々の施設（〇〇研究棟など）への誘導は、当該施設からメインループ上の最寄りの地点に誘導サインを設置します。

この例では、情報メディア教育研究センターを含む研究センター群、工学部内の一部施設を表記しています。







**G. 西第1福利前エリア**



使用サイン	ガイド本参考ページ
<b>L-1</b> 各学部系施設エリア誘導	P33
<b>L-3</b> 非学部系施設誘導	P35
<b>L</b> ループサイン_非照明タイプ	P41

**誘導サイン群**

誘導サインエリアとなる場所は来訪者が不安になるポイントに配慮して設置すべきです。この例のように進行方向の先が見えないような箇所は、誘導サイン群を設ける必要があると考えます。誘導方向に合わせて群配置をおこない、空間的にもひとつの拠点であることを訴求します。



右) ループサインは既存の照明があるため非照明タイプのものを設置します。

広島大学 サインガイドライン

発行年：2009年2月

編集・発行：広島大学財務室施設企画G

所在地：〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2

TEL:082-424-6103

FAX：082-424-6110

E-mail：skikaku-sen-mune@office.hiroshima-u.ac.jp

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/m/>（携帯）



広島大学